

研究

筑波大学は、広範な学問分野にわたって高度で先進的な研究力を有し、それに裏打ちされた学士課程から博士課程までの質の高い教育を通じて優れた人材を育成する研究型総合大学です。各分野における専門性を追求すると同時に、学際的な連携・協力を積極的に推進し、世界的に卓越した教育研究を展開することを通じて社会に貢献することを目指しています。

未来に羽ばたく次世代研究者

小児患者を抱える家族のエンパワメント

小児保健看護学



小児患者をもつ家族を中心に据えた研究プロジェクトを推進しています

わくみず りえ
涌水 理恵 医学医療系・准教授

家族が何らかの課題に向き合い、自分たちの生活調整や改善を図る力を有すること（他の家族やサービスシステム、社会などの外部と協働する状態や能力も含まれます）が「家族エンパワメント」です。健康問題を有する子どもを養育する家族のエンパワメントに関する実証データに基づくケアを実現するために、患者家族の「セルフケア機能」や「エンパワメント」の過程を把握することで、家族にとって適切なサポート態勢の充実を図ると同時に、研究知見を蓄積して成果を発信できる人材の育成を目指しています。

リアルに美しく情報を伝えるデザインの研究開発

メディア創造分野



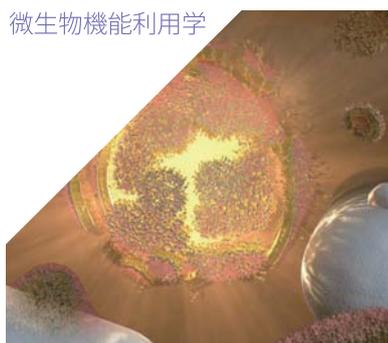
ダイナミックでインタラクティブな情報表現の研究と制作を実践しています

きむ さんて
金 尚泰 図書館情報メディア系・准教授

私たちが五感を通して感じる情報のうちでいちばん比率の高い視覚情報をより効果的に活用するために、IT 技術や工学にデザイン性を活かすというコンセプトから、リアルで美しい三次元CG 画像の研究と制作を進めています。その活用領域は、CG アニメやゲームの制作のみならず、リアルな医学書や図鑑の制作、芸術鑑賞などへと大きく広がっています。

細菌間の相互作用・コミュニケーション

微生物機能利用学



集団を形成した細菌が示す驚異的なパワーの解明を目指しています

とよふく まさのり
豊福 雅典 生命環境系・国際テニュアトラック助教

細菌は、同一の遺伝情報をもつクローンでもそれぞれ個性を有しています。一方、集団を形成した細菌は、感染症や環境浄化において大きなパワーを発揮します。“個”が集まって“集団”を形成・維持する際の相互作用、細菌間コミュニケーションが注目されています。そうした仕組みを解明することで細菌制御技術への応用を目指しています。